

八木山小だより



学校教育目標「自立心のある子」

令和5年10月31日発行

後期スタート 関わり合い 高め合い 磨き合う



10月12日に後期がスタートして早半月が過ぎました。前期終業式では、2、4、6年生の4名の代表児童が、前期の自身の成長を全校の前で話しました。4年生と6年生は、八木山小が大切にしている「関わり合い」についての話でした。二人の話を抜粋して紹介します。

(前略)二つ目はクラスで決めたキャンペーンにがんばって取り組みました。四年一組ではじゅ業じゅんびやきりかえなどのキャンペーンをやっていました。まずは自分からキャンペーンにとり組んで、できていない子がいたらよびかけをしました。そしたら前よりよびかけにこたえてくれる子がいてうれしかったです。でもよびかけにこたえてくれない子もいるので、後期は言い方に気をつけたり、みんなが気持ちよくこたえてくれる方法を考えながら取り組んでいきたいです。

(前略)二つ目は、呼びかけです。六年生になり、自分で行動することを目標にして、呼びかけを始めました。授業の前に「席について。」と声をかけたり、先生や仲間の話を聞くときに「静かにして。」と声をかけたりすることができました。最近では、他の仲間も一緒に呼びかけをしてくれるようになりました。また、呼びかけに答えてくれる人も多くなりました。自分で考え行動したことが、仲間に広がり、とてもやりがいを感じました。

六年一組の学級目標は「三十二人が最高のリーダー」です。残り半年、三月の卒業に向けて、これからも呼びかけや、今、学級で大切にしている「きりかえ」を意識して頑張っていきたいです。

後期始業式では二人の話に触れ、学級や学校のために頑張っている仲間の声に耳を傾け、その声に込められた思い・願いに心を向けてほしいと話しました。八木山の子はみんな仲間です。互いに声をかけ合い応え合い(関わり合い)、高め合い、磨き合う後期にしたいです。そして、3月、どの子も、どの学級も自信を胸に1つ上の学校・学年に進んでほしいと願っています。

☆修学旅行☆

10月18日、19日に、6年生は奈良・京都へ修学旅行に出かけました。日本が誇る世界遺産や国宝の数々を自分の目で見て確かめました。コロナウイルス感染症が第5類に移行して初めての修学旅行となった今年は、これまでの3年間とは異なり、感染予防のための様々な制限のない中で修学旅行を思い切り楽しむことができました。今年は、八木山小初のホテルでの宿泊やタクシー研修を経験しました。タクシーに分乗して、それぞれ自分たちで決めた場所の見学をしました。時間を守って行動する姿、責任をもって自分の役割を果たす姿、仲間と協力して班別研修やバスレクを楽しむ姿など、自分たちで決めためあて「約束を守って、最高の思い出となるたのしい修学旅行にしよう」の達成に向けてがんばる姿がたくさんありました。また、卒業までの課題も明らかになりました。小学校生活も残り5か月です。これからは、卒業に向けてまっしぐらです。毎日が最高の思い出となるよう、日々の学習や生活を6年1組全員で協力して充実させてほしいと思っています。そして、中学校生活に備えてしっかりと力を付けてほしいと期待しています。

